

4. 就労定着支援の説明

(別紙参照：Iビリーブにから就職した人、回答集の 4)



◎ ここから、4-①～4-④ までは 就労定着支援の説明です

①. 通常の就労定着支援

②. 特性の強い就職者への、集中的な定着支援

③. 退職希望の就職者への離転職支援 ⇒ 特に転職支援

④. 安定した就職者への自立へに向けた支援



4-①. 通常の就労定着支援（キーワードは 安心です）

◎ 就労継続のための支援⇒ **定着支援**（本人が、もう大丈夫と思うまで）。

1. 職場訪問：

職場に行き、本人や周囲の人の様子を見ます。

- ① 本人の仕事の様子を見て、本人の話を聞きます。
- ② 職場の担当者、一緒に働く人の話を聞きます。
- ③ 訪問の前後に、ご家庭と情報交換をします。
- ④ 訪問の後に、職場担当者にフィードバックします。

2. 本人面談：

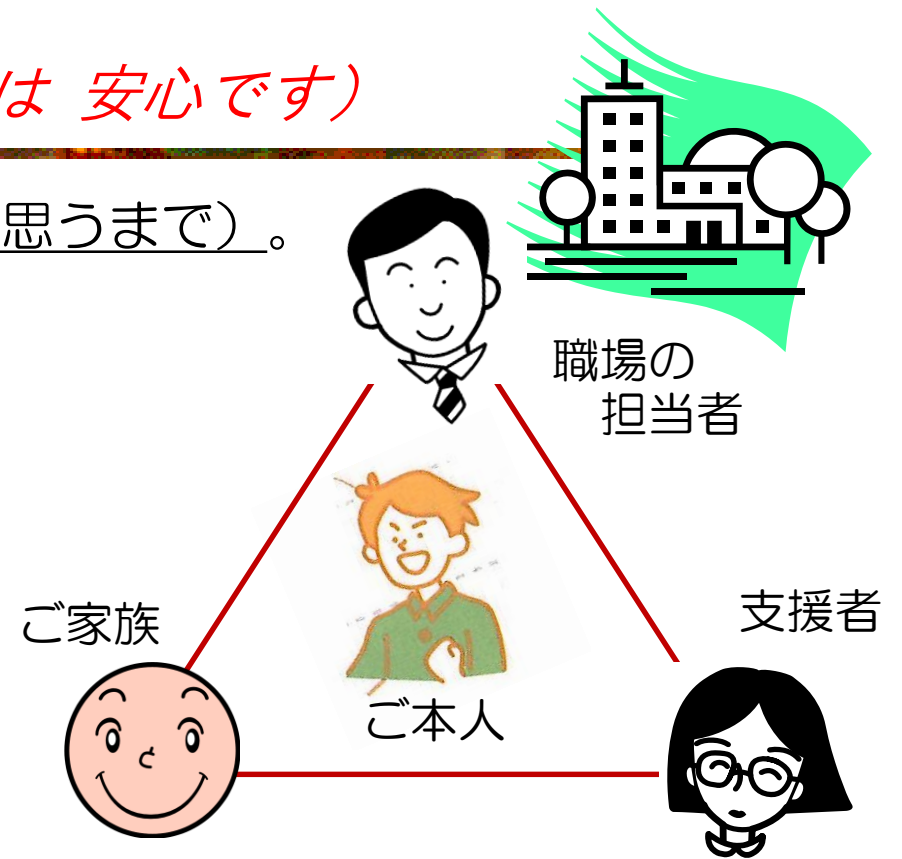
本人とゆっくり話す機会を持ちます。

- ◆ 昼休みにどこかで座って／一緒に帰りながら／
休みの日に、1ピリブで／ など

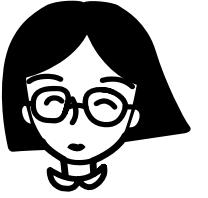
3. 電話・メール連絡：

本人、家族、職場と連絡を取り合います。

- ◆ 本人の特性や気持ちの動き、職場や家庭の事情、
職員ができることなどを、情報交換し合います。



4-②. 特性の強い就職者への集中支援 (マニュアル作成)



◎ 発達障害や成育歴からくる特性 ⇒ 思考パターン、苦手なこと、独特なコミュニケーション

<本人の言動>

1. 興味があることは、度々質問すると思います。
(スケジュール、個人の誕生日、年齢、身長、靴のサイズ、靴の話、食べている物の話
「元気ですか」「友達いますか」「大変ですね」「怒りますか」「おいしいですか」など)
- ・同じことを聞きたがります (仕事中は少ないです)。
- ・見たまま 思ったままを聞くので、短い言葉がほとんどです。
- ・本人に説明を求めても、質問形式でないと答えられません。

☆つまり、本人は長い言葉や文字は 理解できず、短い言葉や文字で、具体的に指示した方が伝わります。
(丁寧に順序立てて話すと、理解できなくなります)

<本人の気持ち>

- *コミュニケーションを
取りたい。取れて良かった。
- ・話せたことに意味があり、返事の有無や内容は、それほど重要ではない。一方的でも満足。
(しっかり覚えている場合もある)
- ・怒られるのが一番コワイ。

<接し方、声のかけ方。○と×>

- 普通の表情で、簡単に答える。
「今用事があるから、またね」
「それは言えません／教えられません」
「何でそんなこと聞くの？」
「エッ、びっくりしたあ」などで良い。
- × 険しい顔や強い声、強い言い方など。
「ハア、何言ってるの！」
「関係ないよ！」などは、怖いだけです。

「接し方マニュアル」より抜粋

(別紙：回答集の4で登場している人です)

4-③. 退職希望の就職者支援 (離職前後の苦しみを支援)



◎会社を辞めたいくなる時
転職したくなる時



4. 本人、家族、職場担当者それぞれと、
別々に面談や電話連絡をして、
離・転職希望の原因を整理して、
本人の本当の気持ちを 聞き取ります。

◆ 家族や担当者と話し合いながら、会社に残るか
離職、転職なのかを、探っていきます。



離・転職支援 といいます。

5. 会社に残る ⇒ ⇒ ⇒ 定着支援の続行
退職してゆっくりしたい ⇒ 離職支援
すぐに転職したい ⇒ ⇒ ⇒ 転職支援
Iビリーブに戻りたい ⇒ 再就職支援

☆≡ ゆっくり、ステップアップしましょう。



〔 ※ 1.2.3.4.5.のすべてを
支援記録に、書き留めます。 〕

4-④. 就労の次は 自立への支援 (ご家族の協力が必須)

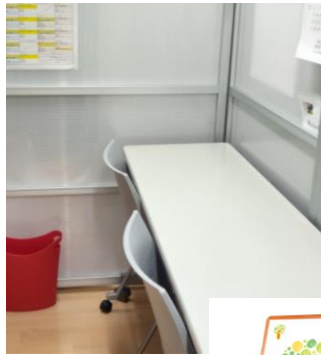


◎ 場面緘黙の人が、少しずつ会話ができ、実習に行き、就職して、グループホームに入居しました。

① 岩谷学園では、
3年間アップルーム
*中学の先生は、声を聞いていません。。。



② 1ビリーブでは、
たいてい個別席
*ここで、友だちと話せました ☆



③ 2週間の汗だく実習で 就職！
今は 職場の人気者♪
*カラダがシュツとして、
別人のような笑顔に ☆☆



夏と冬には、1ビリーブにチョコレートの詰合せを

④ おためし宿泊をしてから、
グループホームに入居！
*職員と、はじめての
家計簿をつけました ☆☆☆



◎ 場面緘黙の人が、ここまで変わっていったのは、なぜだと思いますか？